

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

宮城県 仙台市

自治体名 : 宮城県仙台市

担当課名 : 健康教育課

電話番号 : 022-214-8881

1.自治体の基本情報

基本情報

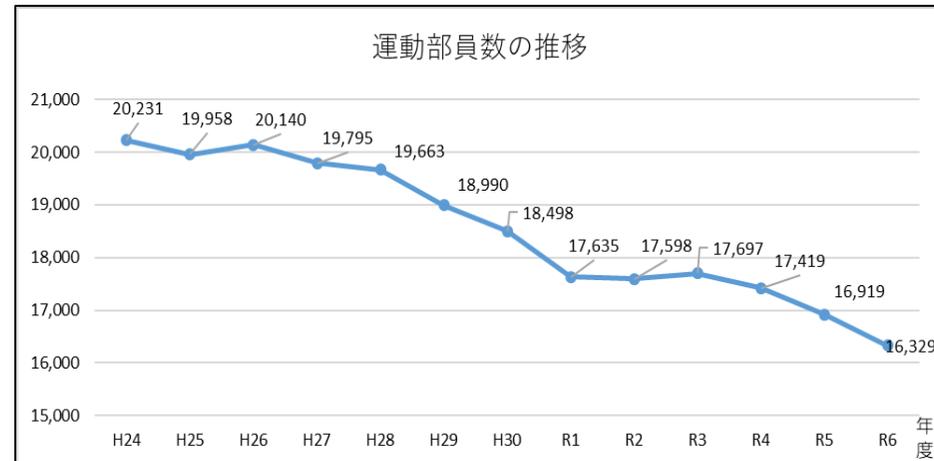
面積	約786.30平方km ²
人口	約108万人
公立中学校数	65校（うち中等教育学校1校）
公立中学校生徒数	約25,189人
部活動数	966部（運動部）
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	検討会議設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	ロードマップ策定済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

本市の部活動は、「運動部活動の方針（ガイドライン）」に基づき、各学校で適切に実施されている。一方、少子化等の影響により、団体種目ではチーム編成に苦慮している学校が増えている。学校からは、一人で顧問することや、自分の競技経験のない部活動を担当する等、部活動に関わる教師の負担感も報告されている。

本市では、令和6年度に仙台市部活動地域移行検討協議会を設置し、地域移行に係る課題を検討している。指導者や受け皿の確保など、課題は多岐に渡るが、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむ機会を

確保できるよう、次年度も検討を深めていきたい。
また、校舎の老朽化に伴う改修工事に伴い、校庭やテニスコート等の使用が制限され、活動場所の確保が課題となっている。今後、改修工事対象校が増えるため、地域移行の検討とともに、スポーツ・文化芸術活動の活動場所確保の課題解決にも取り組んでいきたいと考える。

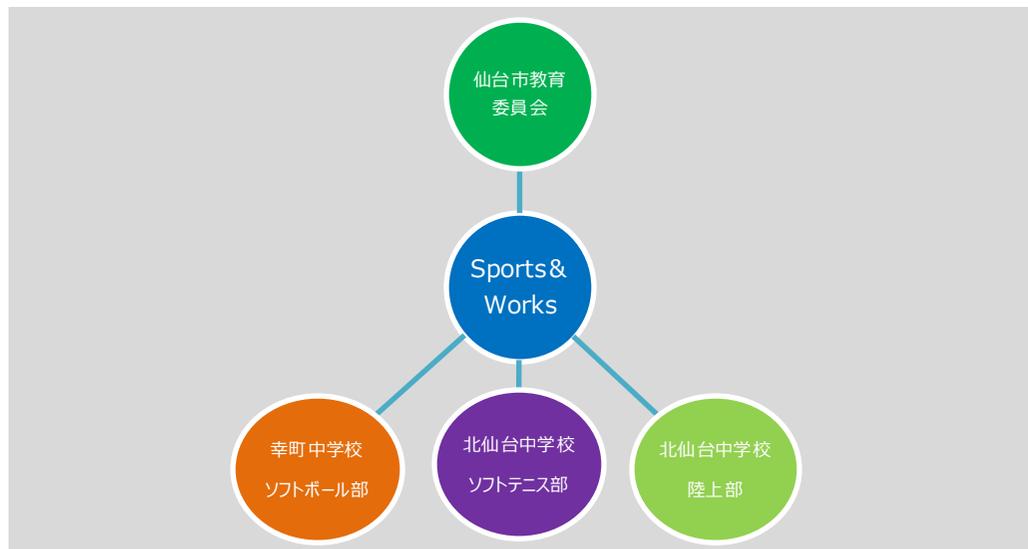


仙台市中・高部活動調査より

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

担当：健康教育課

地域移行実証事業に係る運営、運営団体と拠点校の連絡調整

◎市長部局

担当：スポーツ振興課

地域移行に関する全体的なコーディネート

年間の事業スケジュール

令和6年9月	保護者説明会
令和6年10月	コーチ顔合わせ クラブ活動開始
令和7年1月	クラブ活動中間報告会
令和7年2月	モデル校へのアンケート等の実施（教員、保護者、生徒）、 事業完了

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	2校	実施した地域クラブ総数	3クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		3クラブ（3部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0クラブ
全体の指導者数	12人	全体の運営スタッフ数	15人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
幸町中学校ソフトボールクラブ	民間スポーツ事業者運営	ソフトボール	15回	9時～12時 Or 13時～16時	1年生 2年生	R6.10～ R7.2	幸町中学校グラウンド・仙台市営グラウンド	4人	3人 (内、兼務3人)	保険料800円	—
北仙台中学校ソフトテニスクラブ	民間スポーツ事業者運営	ソフトテニス	8回	9時～12時 Or 13時～16時	1年生 2年生	R6.10～ R7.2	仙台市営テニスコート	4人	3人 (内、兼務3人)	保険料800円	—
北仙台中学校陸上クラブ	民間スポーツ事業者運営	陸上	11回	9時～12時 Or 14時～17時	1年生 2年生	R6.10～ R7.2	弘進ゴムアスリートパーク	4人	3人 (内、兼務3人)	保険料800円	—

③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 特になし

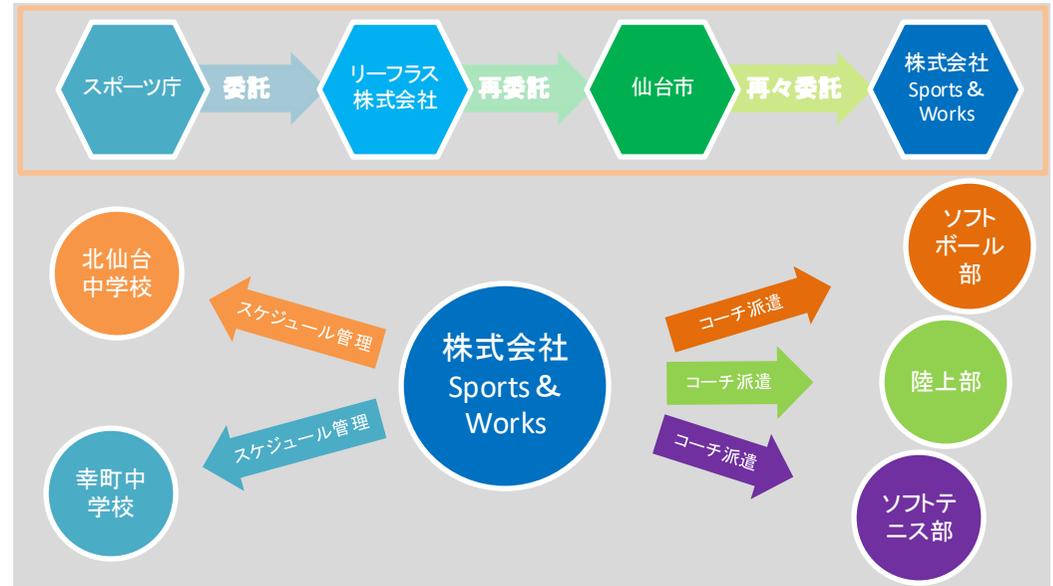
2.実証内容と成果

主な取組例

● Sports & Worksクラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	ソフトボール・ソフトテニス・陸上
運営団体名	(株)Sports & Works
期間	期間：10月～2月 実施日数：各種目 週1回 月4回程度 (土日のいずれか)
指導者の主な属性	業務委託契約
活動場所	仙台市営の施設・民間練習場
主な移動手段	徒歩及び保護者の送迎
1人あたりの参加会費等(年額)	0円(無し)
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

● 運営体制図(地域クラブ活動を実施する際の運営体制図)



● 指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- コーディネーター・コーディネーター補佐
役割：練習場所の調整等を行う
- 指導者 12名
役割：ソフトボール・ソフトテニス・陸上の指導を行う
- システム管理責任者
役割：個人情報管理業務・日報確認業務

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備①

取組事項

◆民間スポーツ事業者による運営管理体制の整備

コーディネーター・コーディネーター補佐を配置し部活動支援ツールを導入し、生徒保護者・顧問教諭・指導者との連携・及びスケジュール調整・管理・連絡と練習場所確保を行う。

取組の成果：スケジュール・連絡関連

部活動支援ツールを活用し、学校顧問を介さず保護者へ直接連絡できる体制を整えるとともに全体連絡方法についても確立をできた。

【保護者アンケートの結果】

◆連絡ツールによるスケジュール管理の満足度

5段階評価で**平均4**（26人回答）

・スマホで確認できるので良かった

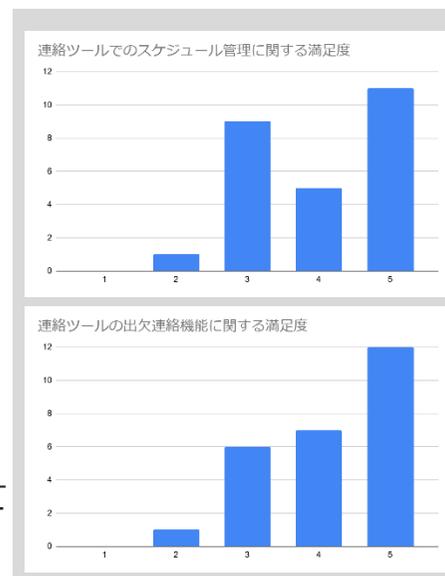
◆アプリによる出欠連絡機能の満足度

5段階評価で**平均4.15**（26人回答）

・夜間や、急な休みの連絡の際に便利だった

【練習場所の確保について】

◆仙台市市民利用施設予約システムを使用して公共施設の予約を優先して行い、公共施設が確保できない場合には民間施設を利用した



コーディネーターの具体的な動きの実績

- 1：保護者説明会でのクラブ事業の説明
- 2：生徒、顧問教諭とコーチの顔合わせ実施
- 3：中学校行事確認、コーチスケジュール確認及び練習日程調整
- 4：練習場所の確保及びクラブ関係者への周知

今後の課題と対応方針

外部の練習場所確保についての対策

・・・一般利用者との予約方法差別化

練習中止の判断基準の標準化

・・・雨天、積雪、グラウンド状況などの判断基準

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

それぞれの部活動に毎回2名ずつ、競技指導等を行う指導者を配置すること。

2名のうち1名の指導者は指導者資格保有者や、全国大会上位入賞経験者等、高いレベルの指導を行えるものを配置すること。

・プロ経験者又は社会人競技経験者（以下、「特別指導者」という）を実施期間中に2回程度それぞれの部活動に派遣すること。

Sports&Works 人材バンクの人数

約200名

人材バンクの年齢構成

10代	約10名程度
20代	約30名程度
30代	約50名程度
40代	約70名程度
50代	約30名程度
60代以上	約10名程度

登録者属性

現役プロ選手
現役実業団選手
元プロ選手
元実業団選手
その他の実績をもつ方々
など

種目

陸上
ソフトテニス
ソフトボール
その他の競技も登録者あり

資格有無

日体協指導資格を所有している者も多数在籍

取組の成果

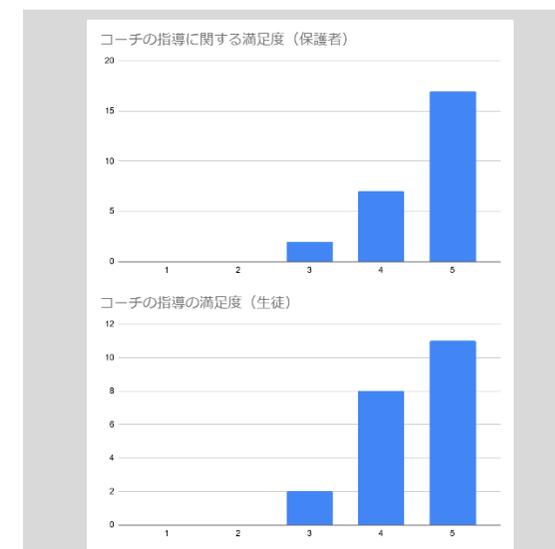
生徒・保護者へのコーチの指導に関する満足度に関する回答は

【生徒】5段階評価で**平均4.43**（21人回答）

【保護者】5段階評価で**平均4.58**（26人回答）

特別指導者を招聘したソフトボール・陸上の生徒の感想

- ◆オリンピック選手と練習出来てとても嬉しかった。正しい姿勢とか足の上げ方とかとても教えてもらったので、これからの練習に活かしていきたい。
- ◆間違えてもあまり責めずに優しく教えていただいた。本物のメダルを触らせてもらったのがすごく嬉しかった。



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の内容

◆オンラインによる指導者研修（全2回）

内容：コンプライアンス研修、CPR + AED研修

実施時間：1回あたり1時間30分



指導者研修の参加実績

- ・開催日： 10月
- ・開催回数： 2回（コンプライアンス研修とCPR + AED研修の開催日を2日に分けて実施）
- ・参加人数： 12人（すべてのコーチが参加）

受講者の声

現代の子どもたちへの指導で気を付けなければいけない点を学べたことで指導にいかすことができた。

緊急時にどのように対応するべきかを頭に入れたことで最悪の事態に備えられ、心に余裕ができた状態で指導に当たれる。



今後の課題と対応方針

- ・中学生年代への指導経験が少ない指導者に特化した研修が必要
- ・礼節などの生徒指導面をどのように解決していくか

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実①

取組事項

プロ経験者又は社会人競技経験者（以下、「特別指導者」という）を実施期間中に2回程度それぞれの部活動に派遣すること。

活動の詳細

幸町中学校ソフトボールクラブ 特別指導会			
実施日	2024年12月15日 2025年1月26日	参加人数	7名
講師	山田美葉		
講師経歴	ポジション：キャッチャー 【経歴】 元日立高崎所属 ソフトボール元日本代表	1995年世界ジュニア選手権：準優勝 1998年世界選手権：銅メダル 1998年アジア競技大会：銀メダル 2000年シドニーオリンピック：銀メダル	
内容	ソフトボール元日本代表キャッチャーの山田さんを招聘し、ソフトボールの実技練習を行っていただく特別練習会を実施。 全2回の実施で、初回は練習中に生徒たちのレベルを把握してもらい2回目までの期間の宿題を設けた。 2回目の特別練習会では宿題の成果の確認やより実践的な練習を行った。 また、最後にはシドニーオリンピックの銀メダルを披露していただき、生徒たちも実際に手に取らせてもらうことができた。		

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実②



生徒・保護者からの感想

【生徒の声】

- ・私たちが生まれる前のオリンピックで、活躍していたことはわからないが、本物のオリンピックの銀メダルに触れてみてすごく感動した。
- ・指導の内容も分かりやすく、時々面白いことも言ってくださるが指導だったのでとても楽しかった。

【保護者の声】

- ・本物のオリンピックメダルに触ることができるとは思っていなかったのでもって感激した。
- ・子どもたちへの指導もわかりやすく表現してもらっていて、上達する姿が見れて良かった。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実①

取組事項

プロ経験者又は社会人競技経験者（以下、「特別指導者」という）を実施期間中に2回程度それぞれの部活動に派遣すること。

活動の詳細

北仙台中学校陸上クラブ 特別指導会			
実施日	2025年2月8日 2025年2月22日	参加人数	12名
講師	佐藤 真有（旧姓：木田）		
講師経歴	陸上短距離選手 【経歴】 元東邦銀行陸上競技部 4×400mR元日本記録保持者	2008年北京オリンピック陸上競技 4×400mリレー代表選手	
内容	陸上短距離元日本代表の佐藤さんを招聘し、短距離走の実技練習を行っていただく特別練習会を実施。 全2回の実施で、初回は基礎的なドリルを行いながら生徒たちのレベルを把握してもらい2回目までの期間の宿題を設けた。 2回目の特別練習会では宿題の成果の確認、コントロールテストで生徒たちの適正種目の選定等も行っていただいた。		

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実②



生徒・保護者からの感想

【生徒の声】

- ・オリンピック選手と練習出来たととても嬉しかった。正しい姿勢とか足の上げ方とかとても教えてもらったので、これからの練習に活かしていきたい。
- ・練習方法も教えてもらったので今後もその練習をしていきたい。
- ・適性種目を教えてもらえてよかった。

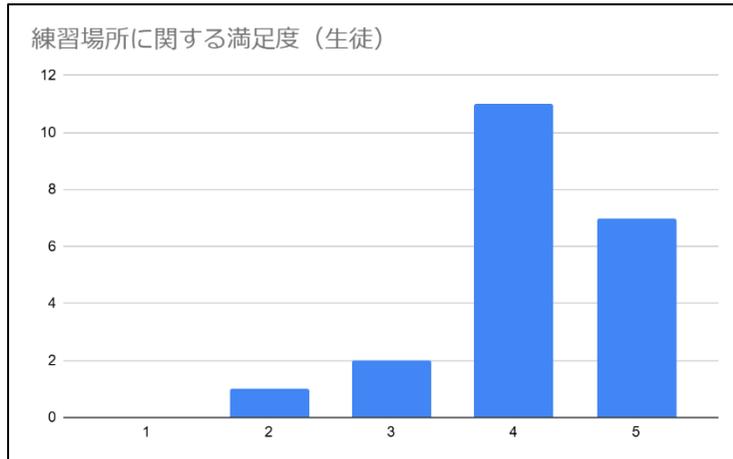
【保護者の声】

- ・学校の部活動では指導して貰えない、基本動作を学べるので、ありがたかった。
- ・短距離の専門の方から指導してもらえたことが良かった。。

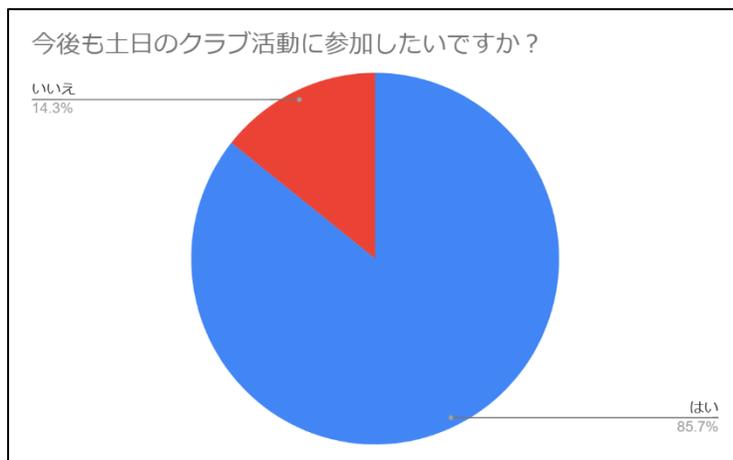
アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果

Q.学校外の施設を利用しての活動の満足度



Q.今後も土日のクラブ活動に参加したいですか？



●参加者の声

中学2年生 女子

専門的な指導が受けられ、沢山練習できて本当に良かった。
場所もちょうとしたコートで練習できて良かった。

中学2年生 女子

普段なかなかできない基礎練習がしっかりできたので良かった。一人一人にアドバイスをしてくださったり、個人の質問にも答えてくれたので良かった。

中学1年生 男子

普段では教えてもらえないことを沢山教えてもらい、ありがたかった。苦手な長距離もタイムを早くでき、短距離も50メートル走でタイムが上がり、とても嬉しかった。

中学1年生 女子

ピッチング練習で、ていねいに教えてくれてクラブチームをやる前より良くなった。
基本が多かったなので、どうしたらアウトになるかななどの試合形式もたくさんやりたかった。

2.実証内容と成果

幸町中学校ソフトボールクラブ参考資料（活動写真）



【山田特別講師の指導を受けている様子】



【山田特別講師の指導を受けている様子】



【山田特別講師の指導を受けている様子】



【山田特別講師の指導を受けている様子】

北仙台中学校ソフトテニスクラブ 参考資料（活動写真）



【千葉コーチの指導を受ける生徒たちの様子】



【千葉コーチから試合に対するメンタルコントロールの指導を受ける様子】



【千葉コーチの指導を受ける生徒たちの様子】



【千葉コーチの指導を受ける生徒たちの様子】

2.実証内容と成果

北仙台中学校陸上クラブ 参考資料（活動写真）



【公園での練習の様子】



【佐藤特別コーチからのアドバイスを受ける生徒たちの様子】



【佐藤特別コーチの指導を受ける様子】



【佐藤特別コーチの指導を受ける様子】

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和6年

協議会の設置

受け皿団体や
指導者の選定、
拠点校の選定

令和7年

生徒、保護者
アンケートの実
施

地域クラブ活動の
継続

令和8年

地域クラブ活動の
拡大

地域移行推進計
画策定

●ステークホルダー

学校、市長部局、市教委、民間事業者

●経過

4月～6月 実証事業に係る検討

9月～2月 地域スポーツ活動の実施

●実施にあたって生じた課題

・活動場所の調整

・保護者への連絡体制

●実施内容、工夫した点 等

教員の負担軽減に関し一定の効果が見られた。

また、民間事業者が会場確保する際の困難さ等の課題も見えたが、保護者会からの協力を得るなど、工夫して実施することができた。

今後、持続可能なものとしていくためには、受益者負担等に係る適正な金額の検討と、保護者の理解が課題である。

●予定

7月 地域スポーツクラブ運営団体と契約締結

8月～2月 事業実施

3月 実施報告書提出

●内容

保護者会の地域スポーツクラブを立ち上げや、スポーツ少年団・総合型地域スポーツクラブへの業務委託など、市が契約した団体に希望する生徒に参加してもらう形式で実施する。

令和8年度以降は地域スポーツ活動として、自立して実施できるよう働きかける。

●予定

令和7年度の実証事業に係るアンケート調査により検証を行い、令和8年度に繋げていく。また、令和8年度以降は、協議会で策定した推進計画をもとに、地域クラブ活動を広げていく。

3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

	主な取組事項	備考
令和4年度	R4.7 運動部活動の地域移行に関する検討会議提言を受け、関係各課、中体連と今後の対応について情報共有 R4.11 スポーツ庁委託事業、地域運動部活動推進事業実施（2校） R4.12 地域移行に係る学校へのヒアリング	
令和5年度	R5.12 仙台経済同友会と仙台市・仙台市教育委員会とで、部活動の地域移行及びスポーツ振興に係る連携協定を締結 スポーツ庁委託事業、地域スポーツクラブ活動体制整備事業実施（6校） 部活動地域移行に係る情報交換会（検討会議） R6.1 アンケート調査実施（教職員対象） R6.2 競技団体ヒアリング	企業からの部活動への指導者派遣を含む本協定は、人材確保への取組となる。
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> 部活動地域移行に係る方針を検討する協議会の設置（年3回の会議開催） 指導者派遣に係る人材確保、学校とのマッチング（仙台経済同友会と連携協定締結による） 地域スポーツクラブ活動体制整備事業実施 	協議会の開催は、令和6年度から令和8年度の3年間にかけて予定しており、本市の部活動地域移行に係る推進計画を策定する予定としている。
令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> 協議会開催（年4回開催予定） 生徒、保護者向けアンケートの検討 	
令和8年度	<ul style="list-style-type: none"> 協議会開催（年3回開催予定） 部活動地域移行の段階実施 	休日の学校部活動の地域移行、地域連携を可能な限り早期に実現する。